

入学・進級時期の交通事故防止について

岡山県交通安全対策協議会

岡山県交通安全対策協議会（会長 伊原木隆太 岡山県知事）より下記のとおり通知がありました。会員各位におかれましては、本通知の趣旨をご理解のうえ、入学・進級時期の児童・生徒の交通事故の防止に、効果的な取組みを推進されますようよろしくお願いいたします。

記

入学・進級時期の交通事故防止について

交通安全対策の推進につきましては、平素から格別の御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、4月は児童・生徒が入学や進級を迎える時期であり、行動範囲が大きく広がり、交通事故に遭う危険性も高くなりますが、交通事故防止のためには、やはり児童・生徒自身が交通ルールや交通マナーを習得することが何より重要です。そこで、この機を捉えた児童・生徒やその保護者等に対する交通安全教育、街頭指導等により交通安全意識を高揚するとともに、児童・生徒を含めた子ども全般に対する社会全体の保護意識の醸成を図るため、貴職におかれましても、傘下従業員に対し広報文(例)を参考に交通事故の防止を積極的に呼びかけていただきますようお願いいたします。

実施期間 平成31年4月8日(月)～4月15日(月)

入学・進級時期の交通事故防止広報文(例)

- 1. 飛び出しは絶対にダメ！！**
小学生の交通事故では、道路横断中に事故に遭うケースが多く見られます。子どもは、頭では危険だとわかっているにもかかわらず、遊びなどに夢中になると、つい安全確認が疎かになったり、飛び出したりしてしまいます。「道路に出たり渡ったりするときは、いったん止まって、車が来ないことを確認する」、「横断歩道以外は渡らない」といったことを日頃から繰り返し教えて、習慣付けましょう。
- 2. 信号が青でも油断禁物！！**
道路を横断するときは、青信号や横断歩道上でも、安心してはいけません。右左折する車や、黄信号で無理な進入をする車、歩行者に気づいていない車もあります。左右をよく確認し、車が来ていないことや止まっていることをよく確かめてから、慌てずに横断するよう教えましょう。
- 3. 子どもと一緒に安全確認を！！**
家のまわりや通学路を親子で一緒に歩いてみましょう。子どもと大人では目の高さが異なります。子どもの目線で道路に潜む危険を確認し、「なぜ危ないのか」、「何に注意したらいいのか」を子どもにも具体的に考えさせ、危険を判断することや交通ルールを守ることの大切さをしっかり教えましょう。
- 4. 自転車もクルマです。交通ルールを守りましょう。**
中・高校生の交通事故の大半が、自転車に乗っているときに起きています。特に、交差点での出会い頭と右左折時が要注意です。また、信号無視や一時不停止、自転車運転中のスマホやイヤホン、傘差し運転、いずれも交通違反です。ルールを守って乗りましょう。
- 5. 子どものお手本に！！**
子どもは、身近な大人の行動を見て育ちます。交通ルールも同じです。大人が交通ルールを正しく理解し、交通ルールとマナーを守った安全な行動を実践して、お手本を示しましょう。
- 6. ゆずる・とまる・まもる 思いやりのある運転を！！**
道路で子どもをみかけたら、自動車や二輪車、自転車は速度を落とし、安全を十分確認して運転してください。通学路では、一層の思いやり運転を心がけましょう。